



在宅復帰に向けて必要な生活動作訓練が可能なADL室

地域に信頼される病院を目指して

聖隷袋井市民病院 西館増改修工事完成記念式典・見学会

地域の医療体制の充実を図るため、中東遠総合医療センターの後方支援病院として平成25年6月に開院した市立聖隷袋井市民病院で、西館増改修工事が完成し、8月30日に完成記念式典と見学会が行われました。

西館増改修工事では、療養環境の整備を図るため、病棟やリハビリテーション施設を充実。見学者からは、「安心して療養できる病院ができた」といった声が聞かれました。

【主な増改修の内容】

病室…150床を整備(6床室から4床室へ変更)

リハビリ…ADL(日常生活動作)室を新設し、在宅復帰を支援

原野谷川水辺環境学習会

青空の下、全身でふるさとの川を体感

8月22日、市内を流れる川の水質や水辺環境を良好にし、ふるさとの川をより良い姿で将来の世代へ引き継いでいこうという取り組み「誇れるふるさとの川づくりプロジェクト」の一環として、「原野谷川水辺環境学習会」が広岡河川公園で開催されました。

当日は、親子58人が参加し、実際に川の水に触れながら川の中の生き物調べやカヌー教室を体験。ズブ濡れになりながらも笑顔で川に親しんだ参加者からは、「いつまでもこうして川遊びができるように、自分ができる川を守る取り組みを続けていきたい」といった声が聞かれました。



カヌー体験。息を合わせてスイスイッ!



園児たちの催しを楽しむ参加者の皆さん(田原地区)

市内各自治会「敬老会」

長寿のお祝い。いつまでもお元気で

9月7日～21日にかけて、市内各地の公民館や公会堂などで敬老会が行われました。

本市では、敬老会の運営を市自治会連合会に委託し、各自治会や民生委員、地域福祉推進組織など各種団体の協力を得て、自治会連合会または自治会単位で開催しています。

会場では、各地区で創意工夫を凝らした敬老会が行われ、日ごろ公民館で活動しているグループによる演芸披露が行われたほか、子どもたちが歌や踊り・作文を披露したり介護予防出前講座を開催して運動する姿が見られたりするなど、参加された皆さんは楽しいひとときを過ごされました。

可睡齋 奥之院不動尊大祭

夏の魅力がギュッとつまった一夜に満足

8月28日、萬松山可睡齋で「奥之院不動尊大祭」が行われ、多くの参拝者らでにぎわいました。

遠州地方の最後を飾る花火大会として、勇壮な手筒花火や華やかな打ち上げ花火・仕掛け花火が行われたほか、放生池では灯ろう流しが行われ、夏の夜を彩りました。

さらに、今年は40年ぶりに盆踊りが復活。「炭坑節」や「一休さん」をはじめとする聞き覚えのある曲が流れたすと、本堂前に設置されたやぐらを中心に、子どもから大人まで輪になって元気に踊る姿が見られました。



花火が始まってからも、盆踊りの輪には大勢の人が集まっています。